

	浜松医科大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：115 第2年次：5） ※医学科を記載。 医学系研究科（D：30） ※医学専攻を記載。
沿革 設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、新設の医科大学として昭和49年（1974年）に設置された。 <u>昭和49年（1974年） 浜松医科大学医学部設置</u> 昭和55年（1980年） 大学院医学研究科設置（平成11年（1999年）医学系研究科に改称） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行
強みや特色などの 役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浜松医科大学の建学の理念等に基づき、患者第一主義の診療を實踐できる優れた臨床医及び独創的研究や新しい医療技術の開発を推進できる医学研究者の養成を積極的に推進する。 ○ 地方公共団体等との密接な連携の下、静岡県内の地域医療の中核を担う医師の養成・確保や地域のニーズの高い専門医の養成等を積極的に推進する。 ○ 光技術の医学応用（メディカルフォトンクス）と生体内分子の詳細な画像化（分子イメージング）に関する研究や小児発達学研究等を始めとする研究の実績や産学官連携によるものづくりの実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、被ばく医療機関等としての取組を通じて、静岡県における地域医療の中核的役割を担う。